

# スタンダード・pH試験紙

## 取扱説明書

国内総発売元

**株式会社 アイシス**

大阪市東淀川区西淡路1-1-36

TEL:06-6325-1406 FAX:06-6328-8995

ご使用前に必ず熟読いただき正しく使用してください。不注意/誤った使用方法による不具合、カタログおよび下記《取扱上の注意》を含めた各種注意事項を順守されていない場合は責任および保証の一切を負いません。

### 《取扱上の注意》

1. 本製品は試験・研究用であり、臨床用には使用できません。
2. 試験紙に触れる際は必ず研究用手袋を装着してください。pH指示薬により皮膚に炎症を起こす恐れや汗や皮脂等により試験紙が変色反応を示す場合があります。
3. 試験紙を酸性もしくはアルカリ性ガスに曝される場所に保管しないでください。
4. 測定後の試験紙の呈色は、時間経過によって変色する場合があります。
5. サンプル溶液に多量の酸化還元剤・アルカロイド・タンパク質・アルコール等の有機溶剤が含まれる場合や、約+40℃以上の液温では正確なpH測定結果が得られない場合があります。
6. 下記使用法で試験紙が呈色しない場合、サンプル溶液の緩衝能が弱い可能性がありますので、試験紙ではなく電極式のpHメーターをご使用ください。

### 《使用法》

1. 試験紙をプラスチックディスペンサーのカラースケール面を半時計回りに少し回転させ、必要な長さを引き出します。カラースケール面を先程と逆に回転させてから取り出した試験紙をカラースケールのエッジ部分で切り取ります。
2. 試験紙をサンプル溶液に数秒間浸し余分な液を振り落としてから、付属のカラースケールと比較/照合し判定します。
3. 懸濁液・粘着液のpH測定は試験紙にスポイド等でサンプル溶液を滴下して、数秒後に滴下面裏側の呈色を付属のカラースケールと比較/照合し判定します。

本試験紙で弱緩衝液のpH測定はお勧めできませんが、以下の方法で試すことが可能です。

ガラス試験管内壁にpH試験紙を密着させ、サンプル溶液を試験管で満たしてから約1分後に試験紙を溶液につけたまま試験管越しに、カラースケールと比較/照合し判定します。

強酸・強アルカリ性の希薄液(1N)・蒸留水・水道水・雨水など弱緩衝液のpH測定には「スティック・pH試験紙」を推奨します。

### 《保管》

日光および高温多湿に晒さず風通しの良い冷暗所に保管し、開封後は速やかに使用してください。